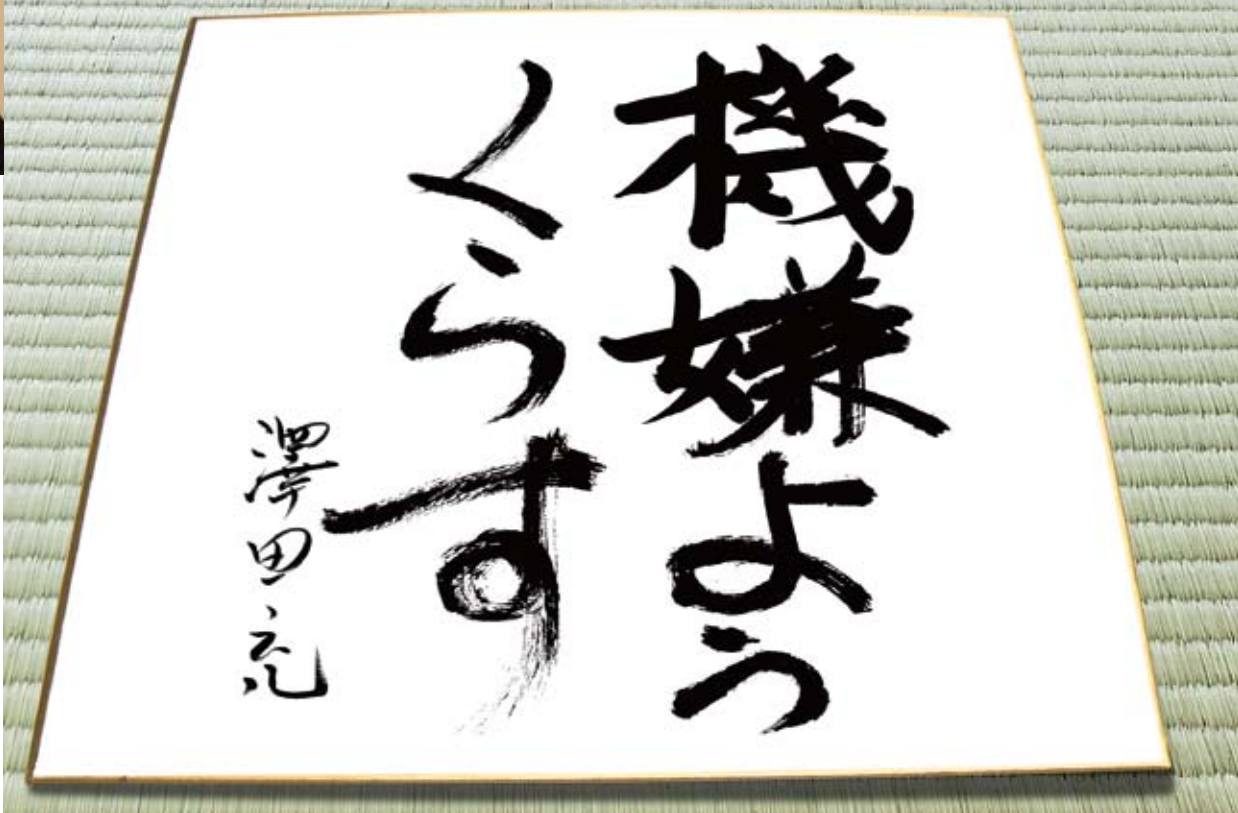




私の一筆  
澤田 充



This interview 【今号の会員様インタビュー】

進化発展し続ける街づくりをプロデュース  
“機嫌よう”がコンセプトの基本

（株）ケイオス社長 澤田 充

ご利用いただくほどに、価値あるエグゼクティブプラン  
GCCO INFORMATION  
Lounge

歌え!おもひでサマーナイト!

～昭和の歌を唱和するLIVE～

ご好評いただいている思い出のメロディLIVEも、残すところ8/5(木)、8/19(木)の2回のみ。ギターとピアノの演奏に合わせておおいに歌い、楽しい夏の夜をお過ごしください。

◎期間 / 8/31(火)まで  
◎料金 / ¥5,000 (料理6品+フリードリンク5種)

さらに、歌・セッションにご参加頂いた方には、抽選でディナーご招待券をプレゼント!



ボトルリレー ～目指せクラブNo1!～



期間中、会員様がお持ちのボトルをリレー形式でご利用いただけます。また、お友達やお客様へ「ハトンカード」をお渡しいただければ、会員様でなくともディナーをご利用いただけます。

◎期間 / 9/1(水)～9/30(木)

スタートの会員様へは、「お好きなメニュー無料券」をプレゼント!そして、最終的に一番長くハトンが繋がったチームには賞品をご用意!

Banquet

produced by 伊藤幸太郎

同窓会プラン

100件以上の同窓会をプロデュースしてきたスペシャリストが贈る、心に残る同窓会プランです!

◎期間 / ～9/30(木)まで  
◎料金 / お一人様 ¥5,500 (税込)

◎形式 / ブッフェ  
◎内容 / 料理10品、フリードリンク4種  
◎実施人数 / 6名様以上  
◎利用時間 / 3時間制

最大10万円の特典付

- 恩師1名様無料
- ドリンク持ち込み可
- ピアニストによる校歌生演奏
- 3時間利用可能
- 吊看板など無料
- 思い出のオリジナルDVDを作成



GCCOホームページ

「会員広場」など会員様専用ページも増設しております。ぜひアクセス下さいませ。

アドレス  
http://www.gcco.jp/

検索  
パスワード GCCO (会員パスワード)

Event

第12回 アクティビティ・コミティ主催

『最新!ITオモシロ事情』



話題のi-phone、i-padでビジネスシーンはどうかわっていくのか?など、ビジネスに役立つIT情報を分かりやすくお届けします。

◎参加費 / ¥3,000 (懇親会込)

◎日時 / 8/30(月) 18:30～20:30  
◎ホスト / 株式会社エフ・シー・エス 代表取締役 藤本 繁夫氏



GCCOアクティビティ・コミティ主催

第6回GCCOゴルフコンペ in 有馬ロイヤルゴルフクラブ



「光と陰の魔術師」Von・Hage (ボン・ヘギー) 戦略。四季の変化や時刻によって、千変万化するコースの陰影さえも、デザイン戦略の重要なファクターとして、見事に活かす彼の技法を、秋も深まるこの時期に、一緒に楽しみませんか。

◎日時 / 11/27(土) ◎プレイ費 / ¥18,500  
◎参加費 / ¥5,000 (表彰式、会費食込) ◎定員 / 20名  
◎場所 / 有馬ロイヤルゴルフクラブ 神戸市北区淡河町北畑571  
◎表彰式 / 12/1(水) 18:30～ ガーデンシティクラブ大阪にて ※詳細はお申込後、別途お知らせいたします。

GCCOメンバーシップ・コミティ主催

第26回 メンバーズパーティー

今話題のスマートフォンに触れる!

『NTTドコモショールーム』見学会

法人企業様向けショールーム見学とスマートフォン体験、ケータイ安全教室の実施など最先端のモバイルソリューションに触れられる貴重な機会です。ぜひご参加ください!



◎参加費 / ¥3,000 (懇親会込)  
◎日時 / 9/29(水) 15:00～19:00  
◎集合場所 / NTTドコモ関西支社3階受付(現地集合) ※大阪駅徒歩5分、大阪マルビル東隣  
◎定員 / 30名  
◎ホスト / 株式会社NTTドコモ 役員待遇関西支社総務部長 加川 亘氏

タイムスケジュール  
15:00 集合  
15:10 ショールーム見学  
16:10 スマートフォン体験  
16:50 ケータイ安全教室  
18:00 懇親会  
19:00 解散

料金はすべて税金・サービス料が含まれております。

スタッフ紹介 vol.16

営業 齋藤 甲太



「会員様に愛される存在に!」  
「お客様に会いに行く営業マン」から「お客様に呼ばれる営業マン」になることが目標です! 会員様に愛される存在となるように努力いたしますので、よろしくお願致します!

◎趣味/野球・スポーツ観戦 ◎生年月日/昭和62年7月12日(23歳)

イベントのお申し込み・各種お問い合わせは  
TEL.06-6343-7770

会報に関するご意見・ご要望もお待ちしております。

GARDEN CITY CLUB OSAKA  
〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA 6F  
TEL:06-6343-7770 FAX:06-6343-7773  
http://www.gcco.jp/  
メールでのお問い合わせは info@gcco.co.jp

BUSINESS MATCHING

FM放送、GCCO、タンゴバーのコラボレーションにより  
FMキタ チャンネル789で新たなラジオ番組がスタート。  
さまざまな分野での出会いや交流が期待されます。



8月6日19時、GCCOの新しい歴史が始まる  
YEAとFMキタ、タンゴバーのコラボで

喜納、上田両会員が出演

「資本主義・社会主義・民主主義」で世界の体制について鋭い分析を行ったオーストリアの経済学者J・シュンペーターは「技術や生産手段など、既にあるものの、新しい組み合わせ」(イノベーション)が経済発展の源と、人に、企業に、イノベーションの重要性を説いた。

日本を代表する民俗学者の宮本常一は、「常民」と「漂流」という定義を使って、異なる層の人々との出会いや交流に、人や地域、社会の発展の源を求めた。

8月6日(金)19時～20時、ここハービスPLAZAのFMキタから、さまざまな分野での新たな出会いや交流への可能性を秘めた、FM放送(FMキタ)、ガーデンシティクラブ大阪(GCCO)メンバー、タンゴバーという新しい組み合わせによる、ノンフィクション番組「カフェティン・デ・ブエノスアイレス」がスタートする。

ヤングアントレプレナーアソシエイツ(YEA)メンバーの、喜納広樹氏((株)サイバネーション社長)と上田久雄氏((株)梅酒屋)のお二人が、老舗の骨董屋街でもある、昔の大阪・キタの老松町の一角にある馴染みのタンゴバー「カフェティン・デ・ブエノスアイレス」(北区西天満4の12の22、第3青山ビルB1F)で、DJやお客さんとの掛け合いトークを楽しみながら、ディープなタンゴの名曲に耳を傾けるという趣向の1時間番組だ。

“出会いの妙”への期待



アルゼンチンタンゴは19世紀初めに、ブエノスアイレスの港町ボカ地区で、船員たちが歌い踊り始めたといわれ、1940年代、アルゼンチンが世界有数の経済大国として輝いていた時代に、その最盛期を迎えた。今なお、哀愁、情念、躍動がないまぜになった歌と踊りに、洋の東西を問わず、酔いしれる人が多い。

メンバーのみなさまには、8月6日(金)19時～20時のFMキタ「カフェティン・デ・ブエノスアイレス」の第1回放送を嚆矢に、率直なご意見、ご感想をクラブまでお寄せいただければ、関係者一同大変うれしく思います。

そんなことから、米国総領事館に近いバーでは、内外の熱烈なタンゴファンがお酒を味わう傍ら、歌と踊りを楽しんでいる。そんなバーでの新たな出会いを通じて、イノベティブな経営者お二人が、次なる事業や、新たなクラブライフに、どのような革新をもたらされるか。想像しただけでもわくわくしてしまう。J・シュンペーターが説いたイノベーション(一般的には経営革新と訳されている)を地でいくベンチャービジネスを起こされ、大変お忙しいお二人が、毎週出演されるばかりか、身銭を切つて、番組づくりを支援されるのも、“出会いの妙”への期待があればこそのことだろう。

天井会員の“サウンド”から



そもそもこの話は、GCCOのメンバーで、昨年、FMキタの社長に就任された天井規雄氏の「音楽だけでなく、FMキタから地域興しにつながるような、新しい“波”を発信して、地域から愛される独逸色を出したい。そんな番組を聴き手(リスナー)と一緒につくってみたい。GCCOで何かいい知恵ない?」とのサウンドがきっかけ。この話を受け、早速、クラブライフの充実、YEA・大阪発のイノベーションや、感動を与えるイベントなどに、アグレッシブに取り組んでおられる喜納サイバーネーション社長(次期YEA委員長)と上田梅酒屋社長に相談したところ、「おもしろいやないか」と、とんとん拍子で話が進み、お二人の発案で、やはり大阪にこだわっているタンゴバー「カフェティン・デ・ブエノスアイレス」でのノンフィクションという番組が実現することになった。GCCOとしても、ささやかながら番組づくりにご協力させていただいていることはいうまでもない。



第23回メンバーズパーティ (2010年5月19日(水)開催)

「メタボリックシンドローム診断と画像で見る動脈硬化治療の最前線」

講演で聞きたいリクエストNO.1だった「メタボリックシンドローム」。今回、ご講演を頂いたのは、桜橋渡辺小山靖史先生。普段の何気ない生活習慣から引き起こされる動脈硬化、参加者の方々からは、積極的に質問が飛び出すなど、興味深々な姿が見られました。講演後は、渡辺先生、小山先生を囲み、和やかなパーティとなりました。



渡辺氏 小山氏  
**ホスト** 桜橋渡辺病院 理事長 病院長 渡辺 真一郎氏  
**講師** 桜橋渡辺病院 画像診断科長 兼 放射線科部長 小山 靖史 氏

講演風景

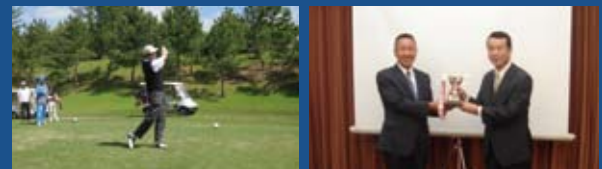
第5回GCCOゴルフコンペ (2010年5月29日(土)開催)

GCCOゴルフコンペ in コマ・カントリークラブ

晴天の中、第5回ゴルフコンペが開催されました。栄えある優勝者は、(株)阪神ホテルシステムズ 代表取締役社長 橋本裕之氏です(スコア=GROSS 88)。6月2日に開かれました表彰式では、前回優勝者の福田武夫氏より、優勝カップの授与が行われました。次回ゴルフコンペは、11月27日(土)開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。



集合写真  
**ゴルフ場** コマ・カントリークラブ (奈良) <http://www.komacc.jp/index.shtml>



左 福田氏、右 橋本氏

第24回メンバーズパーティ (2010年6月28日(月)開催)

超入門「ワインのたしなみ」～ワインの扉を叩いたら～

ワインの歴史から始まり、ワインの品種、ワインの産地、ラベルの読み方など、わかりやすくお話を頂きました。懇親会では、数十種類のワインを囲み、試飲会が開催されました。試飲会では、ソムリエを囲み、それぞれのワインの品評に盛り上がりました。人気が高かった上位3種類のワインは、クラブラウンジにてご提供させて頂いております。



講演風景



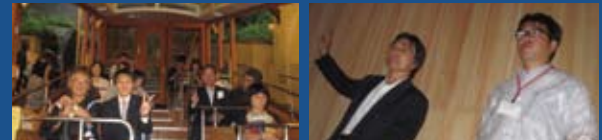
聴講風景 質問される村井晴宏氏

**ホスト** 株式会社エクス 代表取締役社長 抱 厚志氏  
**ソムリエ** ホテル阪急インターナショナル チーフソムリエ 北川 征治氏  
**協賛** ジーワン株式会社 代表取締役社長 小森 義浩氏  
 酒乃さわた 代表 澤田 典康氏

第11回アクティビティイベント (2010年7月11日(日)開催)

「六甲新展望台(仮称)」見学会

13日のグランドオープンを前に、GCCOメンバー特別見学会が開催されました。あいにくの荒天ではございましたが、六甲山ならではの幻想的な濃霧を堪能する事ができました。普段は見ることのできない、展望台にある水室も特別公開頂きました。オルゴール館では、開館後に特別コンサートが行われ、オルゴールの歴史や技術に触れました。懇親会では、オルゴール館の館長を囲み和やかに行われました。



集合写真  
**ホスト** 阪神電気鉄道株式会社 EC事業本部 スポーツレジャー統括部長 天井 規雄氏  
**ご協力** 阪神総合レジャー株式会社 常務取締役 新谷 弘道氏

ケーブルカーにて

左 天井氏、右 新谷氏

進化発展し続ける街づくりをプロデュース

“機嫌よう”がコンセプトの基本

澤田 充 Mitsuru Sawada



イーマ成功が弾みに

大阪梅田の都心型商業施設「イーマ」をはじめ、同流屋橋WEST「流屋橋odon」(京阪電鉄「中之島線4駅」東京丸の内「東京ビルトキア」)「なんばこじろし」などの全体のコンセプトづくりや、その核となるブランドシヨプの誘致から成る総合プロデュースや、東京「新丸ビルディング」での物販、飲食ゾーンのコンサルティング、福岡「イムステラスダイニング」のプランニングと、全国規模で「住環境・商業施設・地域活性」に関する「マーケティング・エーション型プロデュース」を展開している。日本ではあまり馴染みのない仕事だが、「イーマ」など手掛けたプロジェクトでの良好な実績(来客数、テナントの売上高など)により、創業17年にして、混沌(カオス)社名の由来)の中から新たな発展への秩序づくりを提案する「ケイオス」と、私たちが目指す事業活動が認知されるようになってきた。

100メートル走で、オリンピックを目指したことも



箱根ひの試合にも出場した大学時代

高校時代、100メートルを10秒8で走った。東京6大学に誘われながら、親の反対で断念した父のDNAか、野球少年だった私が、陸上競技に本腰を入れ、オリンピックをも目指そうかと夢膨らませるようになったきっかけの記録だ。でも大学時代、陸上漬けの4年間を過ごしたにもかかわらず、この記録を上回ることができなかった。バルセロナオリンピックの400メートルで、日本人初のファイナリストになった高野進さん(東海大学准教授)たちと、国内の決勝進出を争う程度のスプリンターで終わった。が、自分では「従」の種目と位置づけていた400メートルでは、記録を着実に短縮していた。だから、指導者たちからは、400メートルへの転進を勧められたが、がんとして聞かなかった。今にして思えば、若さゆえの独りよがりの美学だった。気持ちのどこかに、まだ悔いは残っている。でも、この失敗が、社会人になってから、人の意見には真摯に耳を傾ける謙虚さの涵養につながり、私を陰に陽に助けてくれている。

人の意見に耳を傾けると言えば、こんなこともあった。大学進学の際、父を誘ってくれた大学から、話がいった。父は大喜びで進学を勧めくれたが、スポーツ推薦入学を潔く思わなかった私は、一般人試で別の大学を受けて、落っこちた。1年間浪人生活を送り、関西学院大学に入った。

自己主張が強い割には、楽天的、いい加減で、努力の

祖父は日本におけるボーキサイト輸入の草分け、祖父の弟は革命前のロシアで成功し、青い目の奥さんと帰国、おやじは商社マンから金属加工業に転じるなど、進取の気性に富んだ血筋?のせいか、漠然と商人になろうと学生時代から考えていた。リクルートに入社して配属されたのがビル事業部門。テナント開発などこの仕事での5年間が、建築はもとよりデザインの専門家でもない私を、先人のあまり居ない、今の仕事へと導いてくれた。

世の中に役立つ仕事であれば、必ず事業として続けられるし、発展することができる。そんなポジティブというか、楽観的な考えで独立したが、当然のことながら、平坦な道ばかりではなかった。その日の食事代に事欠くときもあった。が、その都度と言つていいくらい、高校、大学の陸上競技部の先輩、リクルート時代の仕事先や同僚などが、仕事を持ち込んでくださった。独立前後、さまざまな異業種交流会や勉強会を通じて、たくさん名刺を集め

対象とムラが多く、社会人としての自分に自信を持てなかった私は、卒業前、自分の立ち位置の発見に努めた。そのとき出した答えが「言行一致」だった。リクルートはそんな私にでも、とても熱心に「お前を必要としているぞ」とのメッセージとともに、最初に内定をくれた会社だった。ボーナスが多かったことや、ステップアップ休暇制度(3年毎に1ヵ月の休暇取得できる)なども魅力だった。



リクルートの新年会での漫才

私の誕生日は6月18日だが、別の意味で忘れられない日になった。1988年のこの日、あの「リクルート疑獄」の第1報が報じられたからだ。早朝、建設会社に行った陸上部の先輩からの電話で事件を知った。でも事の重大さの理解は浅かった。大阪の大きなビル開発プロジェクト3件を担当していた私は、支社長に「根回しも十分やっていますし、よほどのことがない限り、大丈夫ですよ」と大見えを切り、支社長から「そのよほどのことが起つたのだ」と喝された。事態は支社長の案じた通りの推移をたどり、すべてのプロジェクトが白紙に戻された。

そのとき、世の中には2種類の人がいることを教えられた。そんなときに、個人として、私と私の仕事を案じて何かとご支援くださった方々のお気持ちを忘れてはいけないと、肝に銘じている。

そんな折、ありがたいことに、仕事をいただけることになった。喜び勇んで契約書を持参したところ、先方の法務担当者がリクルートが倒産などにより、契約を履行できなかった場合のナルティーはいくら、など契約の基本である双務条項を一方的にリクルートの

逃げない、向き合うことで、道が開けることを

不利なそれを書き直した。屈辱に震えながらも上司に相談したところ、それでもお受けしようとの命令。個人的にも親しかつた会社の顧問弁護士が「会社がその方針ならば、頭を下げるのではなく、お尻を上げてきたら」と言ってくれたことで、乗り切ることができた。

ビル事業営業5年、経理課長4年。たかだか9年のサラリーマン生活だから、偉そうなことは言えないが、学んだ最大の教訓は、事にあたつて誠心誠意を尽くす、ということだった。問題の根本的な解決策は見い出せなくとも、朝事あれば、その問題、トラブルからは決して逃げない。非や至らずは、率直にお詫びする。その中で、最善を尽くす。先方は、私の対応をビジネスライクに、厳しく見ている。でも、そのような方は、さまざまな関係の中で生きる血の通う方が多い。厳しさゆえに、その対応を評価できる熱き思いも持ち合わせている方もある。

ケイオスの今日の礎石ともなった大阪梅田の「イーマ」づくりの目玉だった英国ブランド誘致が失敗したとき、それを救ってくださったのは、この誘致を条件に進出をオファーして下さっていた会社の役員さんだった。「おまえの真剣さ、熱心さを買ったよ」と。そして、英国ブランド誘致失敗の因は、日本における代理人の方の頭越しに行つたオーナーとの交渉。そこでオーナー獲得だった。後日、その非をお詫びしたことは言うまでもない。

が、その代理人の方も、その後、私並びに、その仕事への認識を改めてくださり、折りに触れて、ケイオスの支援をしてくださっている。

ガーデンシティクラブも、さまざまなジャンルのメンバーさんとの触れ合いを通じて、そのお人柄もわかるような、味わい深いクラブライフづくりをぜひ目指してください。

「新結合」のクリエイター



ケイオス創業期

「経済発展の理論」で著名な世界的経済学者のJ・シムペーターはその発展の原動力を、既にある経営資源の新しい組み合わせ「イノベーション」に求めた。IT、搬送機器、モーターゼーション、道路網の成果を、翌日配達システムに組み合わせた故小倉男さんによるヤマト運輸の「宅急便」を想起していただければ、その意味するところはわかりたいだけけるだろう。澤田さんも、日本の社会経済史に、小倉さんのようにイノベーションを実現したイノベーターとして、記録される可能性を秘めていると言え、持ち上げすぎだろうか。「第三次グローバル化時代を乗り切る、タイムシフト(枠組み転換)「浜矩子同志社大学院教授のコンセプトライターが、今の日本は何より求められているだけに、「誤訳解を恐れず書かされたたくと、嫌みなく、人をそらさない、語り口と、その愛嬌あふれる表情で、「吉本の舞台に立つていけば、恐ろしく日本を代表する漫才芸人になられていたのでは」と思いつながら、お話をうかがった。「疎外」から「止揚」自己を客体化し、そこから新しい自己に高めよう。ドイツの哲学者が理想とした人間の在り方を、巧まずして実践されている人でもある。400メートル走で追いかけてきた、あらゆる境界をケイオスでぜひ究めてみたいものだ。(編集子)